

令和5年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
1	2	太極拳教室	ゆるやかライフ	住民同士の交流や、ひとりひとりの健康維持・増進に取り組む	参加者を募集し、太極拳教室を開いた。 前年度は20回実施	住民を対象に太極拳教室を開く。
2	2	知ろう！残そう！ 伝えよう！	風がやさしい道街 プロジェクト	地域活性化	秋山の花、木、鳥など表示板の設置	ひなづる姫旧墓標示板、金山他の標示板の設置 地域マップの作成
3	1	出張撮影	スマイルフォト メモリー	市民の笑顔と思い出をかたちに残し、上野原の魅力を発信し、後世にもつないでいく。	2023.04月：卒業袴の撮影を月見ヶ池で行う。（小学6年生）	上野原の四季折々ゆかりの場所で市民の思い出撮影を行う。 また、コロナ禍で記念写真が撮れなかった方、遠方に出かけることが困難な方も対象に出張で撮影に向かう。（七五三、成人式、銀婚式、金婚式など）
4	2	脱炭素社会の実現を 進める会	脱炭素社会の実現を 進める会	2050年の「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、脱炭素社会を進めるために、これの市民への理解度を高め、普及させるための行動（チラシ作成等を含めた）を行うため。	昨年10月に市民6名による「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた「脱炭素社会の実現を進める会」を発足させ、今年の4月に各家庭への回覧板に、脱炭素社会の普及に向けた分かりやすいチラシ第1弾を作成し、市の生活環境課から発行することが出来た。CO2発生の要因、それによる地球への影響（温暖化）等及び裏面には電気の節約方法クイズを載せた。	・市民向けに脱炭素社会の実現に向けた読みやすいチラシを第1弾に続いて、第2弾、第3弾を作成する。（生活環境課と共作） ・市での具体的な取り組みの調査、行動を行う。（自然エネの効果、ゴミの削減効果等） ・講演会を開く。
5	2	子どもの健全育成のための勉強支援と無償の食事提供事業	こどもの部屋 運営委員会	子どもの健全育成のための勉強支援と無償の食事提供事業を実施することにより、子どもたちへの勉強やお遊びの支援により、工夫や考える力を育み、毎日の勉強が楽しくなるようにする。また、食事の無償提供により、相対的貧困家庭への経済支援を目的とする。	渡辺事務所で事業を開始。 現在約11人の生徒が在籍しており、午前中、宿題勉強。午後は、お遊びや野外実習を含む体験をして楽しく過ごす。特に自分で工夫をすることを誘導する。 竹箒作り、どんど焼きなどの伝統的な遊び体験。 NHKの「ピタゴラスイッチ」で放送された科学実験などを通して体験し、科学的思考の養成。 新型コロナウイルスの描かせたり、なぜ、新型コロナウイルスは伝染性が強いかなど、体験的に理解させる。 児童の頭脳成長に効果が高いといわれる「間違い探し」やパズルなども高齢者と一緒に頑張っている。 職業自習として、パン、ケーキ作りも「子どもたちで作る」を挑戦している。 上野原市在住のろう者を先生として手話を学んでいる。 ロシア、ウクライナ戦争の実態を学ぶために、「北風と太陽」の紙芝居や、「世界で一番強い国」という絵本などを学ぶ。地球儀でウクライナの国の位置を学ぶ。	■対象者 上野原市在住の小学生以上、中学生以下の児童、生徒及びその保護者。 保護者がいれば、小学生未満の児童、地域の高齢者や、障がい者などとのふれあいを通して世代間の交流とノーマライゼーション（いつでもだれとでも）交流ができることを目指します。 「食べて、学んで、遊んで、交流して」 ■内容 学校の宿題支援、紙芝居、読書、お話し、パソコンでの調査方法、パン作り、野外調査、お遊びなど。ただし、学習塾ではない。 昼食、おやつ、お茶なども無償提供。
6	1	秋山未来づくり プロジェクト	秋山未来づくり プロジェクト	秋山地区の人口増加	秋山地区紹介ホームページ 秋山地区内の移住者向け情報収集 移住者向け農業体験：2022年 4回実施 移住者向けテストイベント	秋山地区の人口減少の問題に対して、人口増加を図るべく、移住者等に対するイベント等を実施する。
7	1	甲東地区環境整備	子丑会	地域活性化のためのボランティア活動	仲間側、萩野北沢の河川整備、草刈 県道大月上野原線、桑久保、不老下の桜、花桃の植樹、草刈 ふれあい広場の人工河川の水の管理、蛍の育成管理 ふれあい広場廻りの道路の清掃、ツツジ、芝桜の管理 上野原市役所甲東出張所の廻りの草刈	花桃、桜の管理、整備、草刈、蛍の育成、ツツジ、芝桜の管理 草刈、河川の整備
8	1	上野原の伝統食 酒まんじゅうの 継承と保存	上野原和なかよし クラブ	上野原の伝統食である酒まんじゅうの継承と保存。その普及を目的とする。	市観光協会依頼による、市内外のイベント出店（桂川フェスティバル、アニソンフェスティバル、肉フェス、八王子いちよう祭り・・・など多数） 市教育委員会からの依頼による市民と学生への講習会。 幼稚園PTAからの依頼による園児への体験会など。	酒まんじゅうの肝である酒種（約30年間継ぎ足して保存してきたもの）と、秘伝の作り方を後世に伝承するため、毎月の講習会を行う。 市、内外へのイベントへの出店依頼があれば、酒まんじゅう普及のために出店する。 市内の学生なども含め、幅広い年齢層の市民へ講習会や見学会を行い、伝統食への愛着を深める。
9	2	駐車場整備事業	初戸地域振興会	初戸集落周辺の環境の整備を初戸区と連携し進め、地元の人や移住者の住みやすい地域を構築し、地域を発展させることを目的とする。	登山道整備や参道手摺設置工事、駐車場整備、駐車場に通じる道路及び案内板の設置	初戸区には権現山登山口があります。春から秋の行楽期には大勢の登山者が訪れ、近年は年配の方も多く見られます。全ての人が安全で安心して登山できるよう登山道の整備を行う。

令和5年度 上野原市市民活動支援事業申請事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
10	2	西不老地区活性活動	西不老組	地域住民の高齢化に伴い地区の環境維持及び地域観光である不老山への登山者増加に伴い登山道の整備、安全確保作業の実施。	令和3年11月から地元会員により、不老山登山道の入山口があることから、登山道入山口整備、台風による登山道に倒れた倒木の撤去、滑落危険箇所へのロープ（フィクス線）の展張を実施。 地元市道への倒木危険のある樹木の撤去を実施。	地域住民の高齢化、少子化に伴い居住環境維持、地域観光不老山登山道の整備、安全確保を継続的に実施する。
11	2	学習支援	学びのLabo	子供の学習意欲向上と継続を目的とする。	コモアしおつ内の集会所を利用した学習会。 漢字検定、数学検定の実施。	・長期休みの学習会 ・漢字検定、数学検定の実施
12	1	大目地区生活支援体制整備事業	大目さくらの会	上野原市及び上野原市社会福祉協議会と連携して、高齢者、障害者及び幼少年等の福祉の増進を図るとともに、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも暮らし続けられる町作りをすす推進する。	毎週第三木曜日に定例会 毎週月曜日に紡長屋交流カフェ 出前講座（上條クリニックの医師を中心とした講演会） 青空さくら（大野貯水池堰堤、大目出張所での交流会） 身近な困りごとの相談、支援等	身近な問題等ニーズの把握と問題解決の支援 医療関係者による生活指導、支援 介護施設を利用した交流支援 生活支援コーディネーターとの連携による地域づくり等
13	1	市内外国籍居住者のサポート	おむすび	上野原市在住の外国籍の生活サポート 主な公共施設の利用の仕方についての多言語パンフレットの作成 地域住民との交流	なし	上野原市在住の外国籍の生活サポート 多言語パンフレットの作成（公共施設の利用方法など） 地域住民との交流
14	2	上野原ツーリズム	テイスト・オブ・ウエノハラ	「せいだイモのはなし」英語版を制作し、上野原の歴史、郷土の魅力を外国人にPRすると共に地域の交流を活性化する。	「せいだイモのはなし」英語版を制作した。 今後、学校での読み聞かせ、ゆかりの龍泉寺でのイベント開催を目指している。	インバウンド及び日本在住の外国人向けに上野原の歴史、名所の魅力を伝えるイベントの開催を目的とする。 「せいだイモのはなし」英訳リーフレットを制作し、市内の学校での読み聞かせや関連イベントを開催、ウェブサイトやSNSで上野原をPRする。
15	2	蛍観賞用テラス設置	いいじゃん・蛍	蛍の住む環境をとおして河川環境を見つめ自然を楽しめる場作りをする。	2022年11月から2023年3月に渡り、鶴島駒門地区白山橋下の水路及びその付近の整備を実施。 蛍を見る為のステージ作成、河床の清掃活動実施。 カワニナのエサ投入、蛍増殖活動等実施中。	鶴島地区むじな沢川中流域のめいみ沢橋下に蛍観賞用のテラスを設置する。 また、川に降りるための道整備及び付近の雑木林、竹林等環境整備を行う。
16	2	にこにこママクラブ	にこにこママクラブ	子どもや若者が健やかに育つ地域環境を作る。「誰にも優しく暮らしやすい街」 家庭環境（子どもの特性を理解し、その子にあった対応を知り、温かな親子関係を作る） 地域づくり（子育てをしている親子への理解を深め、関わる人達を増やしていく）	たまひよママのお茶会（2003～2018） たまひよママのお茶会DX（2010～現在） にじのかけはしキャラバン隊公演会（上野原市内、甲府市で開催） 市内イベントに出展参加（廃校フェス、桂川フェス、肉フェス） 入学準備ワークショップ（入学に備えて、子どもの取説作り） 2022年度より 「ぶんぶぎうえのはら」未就園児親子教室開催（2022. 4～） 作ろう倶楽部（8、9月開催） みんなの発表会（10月） スマイルフェスに参加（10月）、チア教室開催中（12月より）	・ぶんぶぎ うえのはら ・たまひよママのお茶会DX ・みんなのクラブ活動 ・不登校の親子のサポート活動
17	1	うえのはらアートひろば	うえのはらアートひろば	それぞれ活動しているアーティストが子育てを通して交流を深め、拠点である上野原市で、親子世代を中心に技術文化のふれるイベントを企画するために発足。	なし	上野原市に在住する全国で活躍するアーティスト達が、市内でも披露できる機会をつくる。主に親子を対象としたイベントを企画し、定期開催。子ども達が芸術文化にふれる体験や、アーティストと身近な環境作りを実施、新たな交流の場を設ける。

令和5年度 上野原市市民活動支援事業申請事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
18	1	子育て世代交流事業	mama. to. ko. piece	～ママ、子ども、親子で楽しめる活動～ ホッとできる場所を作りたい。ママどうしのつながり、きっかけ作りの場を増やしたく設立。	2022. 07月：ママ時間（オイルマッサージ&つまみ細工） 2022. 10月：親子でピニャータ作り 2022. 12月：親子で学ぶ性教育 2022. 12月：クリスマス&お正月フォトブース 2023. 01月：ママが楽しむデコ巻き作り 2023. 02月：ままとこマルシェ 2023. 03月：足形アート	ママ、子ども、親子のイベント開催（企画） ホッとできる場所作り、ママ同士のつながり、きっかけ作りの場
19	1	自主上映会を通じた福祉を考える場づくり	bookmark実行委員会	自主上映会などの企画を通し「障害福祉」・「地域づくり」をキーワードに多様な主体と連携し、課題を考える主体育成の場を創出する。	2022. 11月 自閉症のある妹の日常を撮影したドキュメンタリー映画「ちづる」の上映 来場者数：105名	重度の知的障害のある弟の日常を撮影したドキュメンタリー映画「僕とオトウト」と自閉症のある妹の日常を撮影したドキュメンタリー映画「ちづる」の上映会を通じて、障害について考える催し「bookmark」を開催する。
20	2	英会話による国際交流事業	上野原英会話教室	英会話を使ってコミュニケーションを図り、海外の文化等を理解する。外国人との国際交流をするとともに、子どもたちの文化的育成を図る。	2006年3月より17年を経て、ALTとの交流の継続や英会話教室を毎週約2時間、native speaker（上野原高校ALT、都留高校ALT）との英会話によるコミュニケーションが図られた。小学生、中学生など子供等の参加によって、日常英会話や海外の文化、行事など交流が図れた。日本の文化・上野原の文化・歴史の紹介や一日トリップなど楽しみながら英会話を使った。	英会話を通して国際的コミュニケーション能力を育成する事業 native speakerと会話する機会を市民の皆さんに知って頂き、外国の文化や国際感覚、日本の文化など身につけるための文化事業
21	2	コモア★Smile Festa★	コモア★PowerUpプロジェクト	地元へ愛着を持ち、コミュニティの結束を深め、さらなる地域活性化に努める。また、世代を超えた交流の場を創出し住民同士がつながりあう機会をつくる。	2016年から積水グループ主催で「まち・ひと・げんき祭」が開催される。 2018年から主催者の呼びかけにより、住民の屋台出店、ステージ参加が始まるハロウィンイベントを住民企画で行う。 2019春からは、フリーマーケット、動物ふれあい(帝京科学大)、イースターイベント等の住民参加や企画が増える。 2020春、主催が積水グループから住民グループ「コモア★PowerUPプロジェクト」に変わり、積水グループが協賛協力として計画、準備を進めるが新型コロナ感染拡大により中止となる。今後は住民グループが主催となり、市民活動として実施していく。 2022秋、市民活動支援団体として3年越しとなる「コモア★Smile Festa★」を主催し、約300人の参加者があった。	①子どもを対象としたイースター、ハロウィンイベントやワークショップ ②コモアしおつ時計の公園をメイン会場に、飲食及び手作品などの屋台販売、フリーマーケット ③ダンスパフォーマンス、演奏などステージ発表